

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場会社名 ローヤル電機株式会社

上場取引所 大

コード番号 6593 URL <http://www.royal-elec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 佐藤 和義

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 鮫島 弘一

TEL 03-5424-1860

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,527	△16.7	10	△96.4	41	△86.5	△1,244	—
24年3月期第3四半期	4,235	27.4	289	—	305	408.9	198	265.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △1,250百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 181百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△296.06	—
24年3月期第3四半期	46.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	5,590	3,946	70.6	938.70
24年3月期	7,353	5,241	71.3	1,246.72

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,946百万円 24年3月期 5,241百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,980	△10.4	127	△62.8	148	△61.9	△1,168	—	△277.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 楽揚電機(深セン)有限公司 、 除外 1社 (社名)

(注)詳細は、【添付資料】P.2「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】P.2「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】P.2「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	4,342,554 株	24年3月期	4,342,554 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	138,178 株	24年3月期	138,178 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	4,204,376 株	24年3月期3Q	4,233,569 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に景気の一部に緩やかな回復の兆しが見られ、また、昨年末発足の新政権による脱デフレに向けた経済政策への期待から、円安への移行等、先行きに明るさが見えてきたものの、中国を中心とする新興国経済の成長鈍化や欧州債務問題を背景に、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、顧客ニーズに的確に対応した新製品の開発と短納期化に努め、「軸流ファン」の中国への生産移管及び中国市場の更なる開拓を推進し、熊谷工場との効率的生産システム構築による業績向上に総力をあげて取り組んでおります。

上記の経済環境のもと、前年第1四半期における震災後の仮設住宅等緊急復旧需要やメーカー各社の生産リスク回避を意図した在庫積み上げ需要等が著しく減少したこともあり、当第3四半期連結累計期間における売上高は35億2千7百万円(前年同四半期比16.7%減)、営業利益は1千万円(前年同四半期比96.4%減)、経常利益は4千1百万円(前年同四半期比86.5%減)となりました。しかし、当社が貸付債権を有するワシ興産株式会社に対して会社更生手続き開始の申立てがなされたため、ワシ興産株式会社に対する12億円の貸付金について、特別損失として貸倒引当処理を行ったことにより、四半期純損失は12億4千4百万円(前年同四半期は四半期純利益1億9千8百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、55億9千万円(前期末比17億6千3百万円減少)、純資産は39億4千6百万円(前期末比12億9千4百万円減少)、自己資本比率は70.6%(前期末71.3%)となりました。

総資産の減少は、主に長期債権の貸倒引当金が増加したことによるものです。純資産の減少は、四半期純損失の計上と配当金の支払があったことと、更に有価証券の時価が変動した結果、その他有価証券評価差額金が減少したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績と進捗状況を勘案し精査を行っておりますが、現段階では平成24年11月9日に公表しました業績予想を修正しておりません。今後、業績予想に大きな変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、樂揚電機(深圳)有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,120,945	1,210,118
受取手形及び売掛金	1,722,441	1,239,970
有価証券	18,339	17,226
営業投資有価証券	1,348,967	600,101
商品及び製品	171,098	207,248
仕掛品	155,764	235,398
原材料及び貯蔵品	431,902	321,246
繰延税金資産	83,583	1,201
その他	461,344	49,537
貸倒引当金	△3,428	△1,051
流動資産合計	5,510,960	3,880,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	257,198	245,267
機械装置及び運搬具(純額)	73,211	65,071
工具、器具及び備品(純額)	51,225	38,013
土地	662,485	662,485
リース資産(純額)	20,791	17,186
有形固定資産合計	1,064,911	1,028,024
無形固定資産		
のれん	298,317	267,457
借地権	32,841	32,841
その他	45,579	36,136
無形固定資産合計	376,739	336,435
投資その他の資産		
投資有価証券	333,706	318,782
破産更生債権等	2,423	1,201,518
その他	68,006	25,862
貸倒引当金	△3,342	△1,201,572
投資その他の資産合計	400,794	344,590
固定資産合計	1,842,445	1,709,049
資産合計	7,353,405	5,590,047

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	907,952	597,508
短期借入金	500,000	476,498
1年内返済予定の長期借入金	56,551	25,992
未払法人税等	11,912	18,005
賞与引当金	51,467	25,483
その他	162,742	106,713
流動負債合計	1,690,625	1,250,202
固定負債		
長期借入金	36,862	17,368
リース債務	8,672	6,535
繰延税金負債	73,235	74,394
退職給付引当金	272,661	259,084
役員退職慰労引当金	11,881	17,973
資産除去債務	14,700	14,700
その他	3,106	2,999
固定負債合計	421,119	393,054
負債合計	2,111,744	1,643,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,538,448	1,538,448
資本剰余金	1,676,743	1,676,743
利益剰余金	2,267,844	981,044
自己株式	△227,043	△227,043
株主資本合計	5,255,992	3,969,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,801	24,590
為替換算調整勘定	△52,133	△47,121
その他の包括利益累計額合計	△14,331	△22,531
新株予約権	—	130
純資産合計	5,241,661	3,946,790
負債純資産合計	7,353,405	5,590,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,235,429	3,527,871
売上原価	3,383,548	2,913,608
売上総利益	851,881	614,263
販売費及び一般管理費	562,555	603,902
営業利益	289,325	10,361
営業外収益		
受取利息	1,370	8,303
受取配当金	5,820	6,208
持分法による投資利益	8,460	5,482
受取賃貸料	7,464	7,200
その他	12,357	19,733
営業外収益合計	35,473	46,928
営業外費用		
支払利息	2,921	4,661
有価証券評価損	534	1,113
為替差損	12,451	5,229
その他	3,607	5,010
営業外費用合計	19,513	16,015
経常利益	305,285	41,273
特別利益		
新株予約権戻入益	—	50
保険解約返戻金	—	28,810
特別利益合計	—	28,860
特別損失		
固定資産除却損	46	145
投資有価証券評価損	—	3,965
クレーム関連対策費用	83,697	—
貸倒引当金繰入額	—	1,200,000
特別損失合計	83,744	1,204,110
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	221,540	△1,133,976
法人税等	24,083	110,779
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	197,456	△1,244,756
少数株主損失(△)	△611	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	198,067	△1,244,756

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	197,456	△1,244,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,242	△10,647
為替換算調整勘定	△2,110	5,011
その他の包括利益合計	△16,352	△5,635
四半期包括利益	181,104	△1,250,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,212	△1,250,392
少数株主に係る四半期包括利益	△107	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	送風機事業	住設事業	自動巻線機 事業	企業再生支 援事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,929,758	767,758	1,343,549	41,468	4,082,534	152,894	4,235,429	—	4,235,429
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,929,758	767,758	1,343,549	41,468	4,082,534	152,894	4,235,429	—	4,235,429
セグメント利益又はセグメント損失(△)	257,463	61,306	76,317	34,825	429,914	△4,234	425,679	△136,353	289,325

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業を含んでおりません。
2. セグメント利益の調整額△136,353千円の主なものは、当社の総務部門等、一般管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	送風機事業	住設事業	自動巻線機事業	企業再生支援事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,716,175	719,441	1,021,613	70,642	3,527,871	—	3,527,871
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,716,175	719,441	1,021,613	70,642	3,527,871	—	3,527,871
セグメント利益又はセグメント損失(△)	159,421	30,628	△56,821	48,612	181,840	△171,479	10,361

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△171,479千円の主なものは、当社の総務部門等、一般管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。